

広島県北西部におけるクマタカの繁殖状況

上野 吉雄^{1*}・加藤 淳司²・西本 悟郎²・立本 ますみ²・谷口 伸広²・佐藤 周平²・石井 秀雄³

¹ 認定 NPO 法人西中国山地自然史研究会・² 日本野鳥の会・³ 広島県立祇園北高等学校

The Breeding status of Mountain Hawk-Eagle *Nisaetus nipalensis orientalis* in Northwestern Hiroshima Prefecture

Yoshio UENO, Junji KATO, Goro NISHIMOTO, Masumi TATEMOTO, Nobuhiro TANIGUCHI, Shuhei SATO, and Hideo ISHII

はじめに

種クマタカ *Nisaetus nipalensis* Hodgson, 1836 はインド、ネパール、インドシナ半島、台湾、中国東南部、ロシア極東南部、日本に分布し、その内、亜種クマタカ *Nisaetus nipalensis orientalis* (Temminck & Schlegel, 1844) は日本と朝鮮半島に分布し、最も北に分布する大型の亜種である (井上 2014)。国内には約 1,800 羽程度しか生息していないとされ国内希少野生動植物種に定められている。また、環境省により絶滅危惧 IB 類に (井上 2014)、広島県により絶滅危惧 II 類に (井原 2021)、島根県により絶滅危惧 I 類に (佐藤 2014)、鳥取県により絶滅危惧 I 類に (鳥取県 2022)、岡山県により絶滅危惧 IB 類に (丸山・多田 2020)、山口県により絶滅危惧 IB 類に (原田 2019) 選定されている。

筆者らは、2020 年から 2022 年にかけての 2 年 3 か月、広島県北西部におけるクマタカの繁殖状況を調査したので報告する。

調査地

調査地は広島県北西部 (34° 33' 42" N, 132° 10' 29" E, から 34° 27' 41" N, 132° 13' 51" E, 標高約 300m から約 1100m) に位置する山林である。植生は高標高地域では高木層としてブナ *Fagus crenata*, ミズナラ *Quercus crispula*, ホオノキ *Magnolia obovata*, ハウチワカエデ *Acer controversa* などが優占し、低木層ではリョウブ *Clethra barbinervis*, ガマズミ *Viburnum dilatatum*, ミズキ *Cornus controversa* など、林床にはチュウゴクザサ *Sasa veitchii* var. *hirsuta* が優占している。低標高地域では高木層としてアカマツ *Pinus densiflora*, スギ *Cryptomeria japonica*, コナラ *Quercus serrata* などが優占し、低木層ではアセビ *Pieris japonica*, ヤブツバキ *Camellia japonica*, コバノミツバツツジ *Rhododendron reticulatum* など、林床にはコバノフユイチゴ *Rubus pectinellus* などが見られる。

鳥類はクマタカ, ハチクマ *Pernis apivorus orientalis*, ツミ *Accipiter gularis* などの猛禽類が繁殖している。

方法

調査は 2020 年 6 月から 2022 年 8 月までの 2 年 3 か月間行った。観察は 8 倍の双眼鏡または 20 倍の望遠鏡を用い、必要に応じて写真撮影を行った。

結果

表 1 に 2020 年から 2022 年における 3 シーズンのクマタカの繁殖状況について、図 1 に 7 つがいのクマタカの飛翔図および推定行動圏を示す。

A つがい

- 2021 年 1 月 28 日に成鳥 1 羽を確認した。
- 2021 年 2 月 19 日に成鳥 1 羽を確認した (図版 1-D)。
- 2021 年 2 月 22 日に成鳥 1 羽を確認した。
- 2021 年 3 月 9 日にメス成鳥を確認した。
- 2021 年 3 月 31 日に成鳥 1 羽を確認した。
- 2021 年 7 月 27 日にオス成鳥とメス成鳥を確認した。

B つがい

- 2020 年 7 月 2 日にクマタカ 1 羽を確認した。
- 2020 年 7 月 5 日にクマタカ 1 羽を確認した。
- 2020 年 7 月 18 日にクマタカ 3 羽を確認し、2 羽のディスプレイ飛翔を確認した。
- 2020 年 8 月 2 日にクマタカ 1 羽を確認した。
- 2020 年 9 月 20 日に成鳥 1 羽と若鳥 1 羽を確認した。
- 2020 年 9 月 23 日にクマタカ 2 羽を確認した。
- 2020 年 10 月 27 日にクマタカ 1 羽を確認した。
- 2020 年 10 月 29 日にクマタカ 1 羽を確認した。
- 2020 年 12 月 10 日にクマタカ 2 羽を確認した。
- 2020 年 12 月 15 日に成鳥 1 羽を確認した。
- 2021 年 1 月 21 日に成鳥 4 羽を同時に確認した。
- 2021 年 2 月 1 日にオス成鳥を確認した (図版 1-E)。
- 2021 年 2 月 1 日にメス成鳥を確認した (図版 1-F)。
- 2021 年 2 月 19 日に 2019 年生まれの若鳥を確認した (図版 1-G)。
- 2021 年 3 月 10 日にオス成鳥を確認した。

表 1 7 つがいのクマタカの繁殖状況 (2019 年 - 2022 年)

つがい	2019	2020	2021	2022	
A つがい	—	—	○	—	2021 年に 2021 年生まれの幼鳥を確認。
B つがい	○	—	—	×	2021 年に 2019 年生まれの若鳥を確認。 2022 年に繁殖失敗を確認。
C つがい	—	○	—	○	2020 年に 2020 年生まれの若鳥を確認。 2022 年に 2022 年生まれの幼鳥を確認。
D つがい	—	—	○	—	2021 年に 2021 年生まれの若鳥を確認。
E つがい	○	—	—	—	2020 年に 2019 年生まれの若鳥を確認。
F つがい	—	—	○	—	2021 年に 2021 年生まれの若鳥を確認。
G つがい	—	○	—	○	2021 年に 2020 年生まれの若鳥を確認。 2022 年に成鳥による餌運搬を確認。

繁殖成功：○ 繁殖失敗：× 不明：—

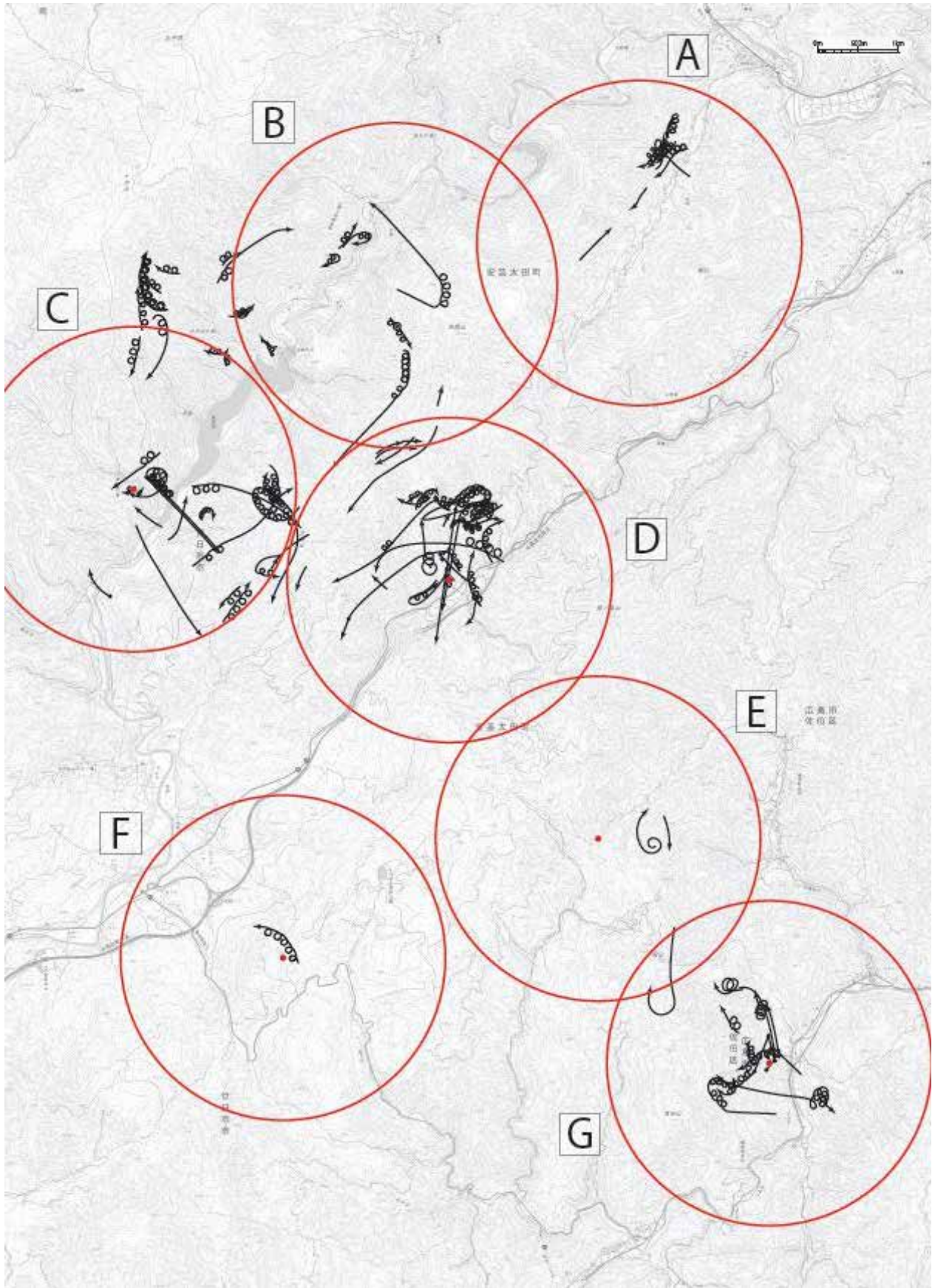


図1 7つがいのクマタカの飛翔図および推定行動圏（2021年）

2021年3月11日に2020年生まれの若鳥とオス成鳥を確認した。
2021年3月24日にオス成鳥とメス成鳥を確認した。
2021年4月12日にオス成鳥とメス成鳥を確認した。
2021年9月16日に成鳥1羽を確認した。
2022年1月20日にオス成鳥とメス成鳥を確認した。

Cつがい

2020年7月1日に成鳥1羽を確認した。
2020年7月30日にクマタカ1羽を確認した。
2020年8月6日にクマタカ1羽を確認した。
2020年8月10日にクマタカ1羽を確認した。
2020年9月19日に餌を運ぶ成鳥を確認した。
2020年9月23日にクマタカ1羽を確認した。
2020年10月1日にクマタカ3羽を確認し、1羽のVディスプレイを確認した。
2020年10月29日に成鳥1羽と2020年生まれの若鳥を確認した。
2020年11月4日に成鳥1羽を確認した。
2020年11月16日に成鳥1羽を確認した。
2020年11月17日に成鳥1羽を確認した。
2020年11月20日に2020年生まれの若鳥を確認した。
2020年12月10日にクマタカ2羽を確認した。
2020年12月11日に成鳥1羽を確認した。
2020年12月13日に成鳥1羽を確認した。
2021年3月10日に成鳥1羽を確認した(図版2-D)。
2021年6月17日に2020年生まれの若鳥と成鳥を確認した。
2021年9月16日に2020年生まれの若鳥を確認した。
2022年8月23日に2022生まれの幼鳥と(図版2-C)オス成鳥を確認した。

Dつがい

2020年6月29日に成鳥1羽を確認した。
2020年8月28日にクマタカ1羽のV字ディスプレイを確認する。
2020年8月31日に成鳥1羽を確認した。
2020年9月3日にクマタカ2羽を確認した。
2020年9月6日にクマタカ1羽を確認した。
2020年9月8日にクマタカ1羽を確認した。
2020年9月13日にクマタカ2羽を確認した。
2020年9月15日にクマタカ2羽のV字ディスプレイを確認した。
2020年9月23日にクマタカ1羽のディスプレイ飛翔を確認した。
2020年12月21日に成鳥1羽を確認した。
2021年1月5日に成鳥1羽を確認した。
2021年1月20日に成鳥を確認した(図版1-C)。
2021年2月24日に成鳥を確認した(図版2-D)。
2021年3月9日にオス成鳥とメス成鳥を確認した。

E つがい

2020年6月29日に成鳥1羽と2019年生まれの若鳥を確認した。
2021年2月14日に成鳥1羽を確認した。
2021年3月1日に成鳥1羽を確認した(図版2-A)。
2021年3月9日に成鳥1羽を確認した。
2021年3月17日に成鳥1羽を確認した。

F つがい

2021年7月26日に2021年生まれの幼鳥と成鳥を確認した。

G つがい

2020年11月16日に成鳥1羽を確認した。
2020年11月17日に成鳥1羽を確認した。
2020年12月27日に成鳥1羽を確認した。
2021年1月3日に成鳥1羽を確認した。
2021年1月6日に成鳥1羽を確認した。
2021年1月11日に2020年生まれの若鳥を確認した(図版1-A)。
2021年1月17日に成鳥1羽を確認した。
2021年2月16日にメス成鳥を確認した(図版1-B)。
2021年2月16日にオス成鳥を確認した(図版1-H)。
2021年3月17日にオス成鳥とメス成鳥を確認した。
2021年3月29日にオス成鳥を確認した。
2021年3月31日に近隣のつがいを含む5羽のクマタカが排斥行動をするのを確認した。
2021年11月26日に成鳥1羽を確認した。
2021年12月12日に成鳥1羽を確認した。
2021年12月22日にオス成鳥の波状ディスプレイを確認し、メス成鳥を確認した。
2022年1月1日に交尾を確認した(図版2-E)。
2022年1月2日につがいでの連れ立ち飛行を確認した。
2022年1月7日にオス成鳥の波状ディスプレイを確認し、近隣のクマタカ1羽に対するつがいでの排斥行動を確認した。
2022年1月19日に交尾を確認した。オス成鳥の波状ディスプレイを確認し、近隣のクマタカ1羽に対するつがいでの排斥行動を確認した。
2022年8月21日にへびを運ぶメス成鳥(図版2-F)を確認した。

以上、筆者らの調査で広島県北西部におけるクマタカの繁殖状況が明らかになった。7つがいのクマタカの行動圏は約4km毎にあり、きわめて高密度に生息していることが明らかになった。

謝辞

本研究の遂行にあたり、調査にご協力いただいた茶村真一郎支部長をはじめとする日本野鳥の会広島県支部の方々、広島市湯来町善福寺の水原史雄氏に心からお礼を申し上げる。

引用文献

- 原田 量介（2019）クマタカ．レッドデータブックやまぐち 2019－山口県の絶滅のおそれのある野生生物－，山口県環境生活部自然保護課
- 井原 庸（2021）クマタカ．広島県の絶滅のおそれのある野生生物（第4版）－レッドデータブックひろしま 2021－，113．広島県
- 井上 剛彦（2014）クマタカ．レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－ 2 鳥類，94-95．環境省
- 丸山 健司・多田英行（2020）クマタカ．岡山県版レッドデータブック 2020－絶滅のおそれのある野生生物－，89．岡山県環境文化部自然環境課
- 佐藤 仁志（2014）クマタカ．改訂・しまねレッドデータブック 2014 動物編－島根県の絶滅のおそれのある野生動物－，42．島根県環境生活部自然環境課
- 鳥取県（2012）鳥取県の絶滅のおそれのある野生動植物のリスト－，5．鳥取県生活環境部緑豊かな自然課



A : Gつがいの 2020 年生まれの若鳥	2021 年 1 月 11 日
B : Gつがいのメス	2021 年 2 月 2 日
C : Dつがいの成鳥の止まり	2021 年 1 月 20 日
D : Aつがいの成鳥	2021 年 2 月 5 日
E : Bつがいのオス	2021 年 2 月 19 日
F : Bつがいのメス	2021 年 2 月 19 日
G : Bつがいの 2019 年生まれの若鳥	2021 年 2 月 19 日
H : Gつがいのオス	2021 年 3 月 6 日



A : Eつがいの成鳥 2021年3月1日
 B : Dつがいの成鳥 2021年2月24日
 C : Cつがいの2022年生まれの幼鳥 2022年8月23日
 D : Cつがいの成鳥 2021年3月10日
 E : Gつがいの交尾 2022年1月1日
 F : ヘビを運ぶGつがいの成鳥 2022年8月21日